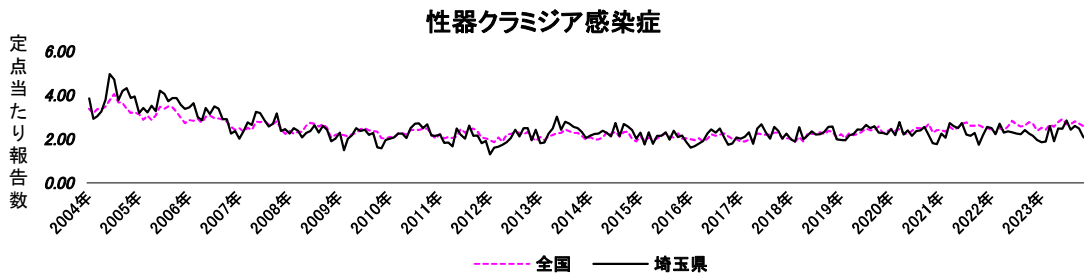


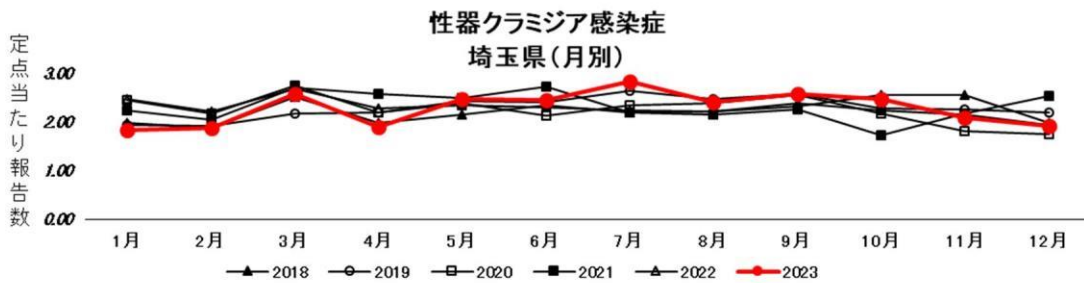
6 性感染症定点把握対象疾患の動向

1) 性器クラミジア感染症

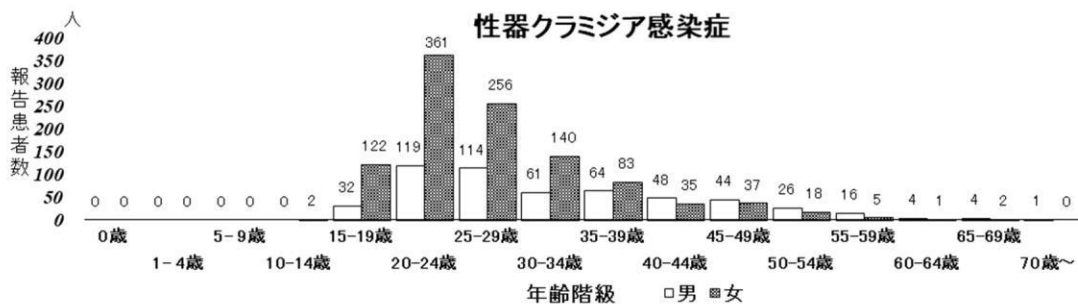
2023年1月～12月の累積報告患者数は1,595人（男性533人、女性1,062人、性比0.50）であった。定点当たり報告患者総数27.50は前年と同水準であった。定点当たり報告数は最小値1.85、最大値2.84の範囲で推移した。男性の報告患者の多い年齢階級は、20-24歳の119人、25-29歳の114人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は20-24歳の361人、25-29歳の256人で、女性全体の58.1%であった。



図Ⅱ-23-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：性器クラミジア感染症）



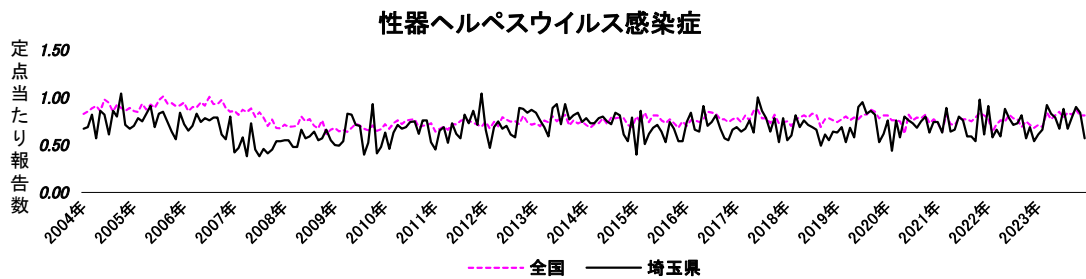
図Ⅱ-23-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：性器クラミジア感染症）



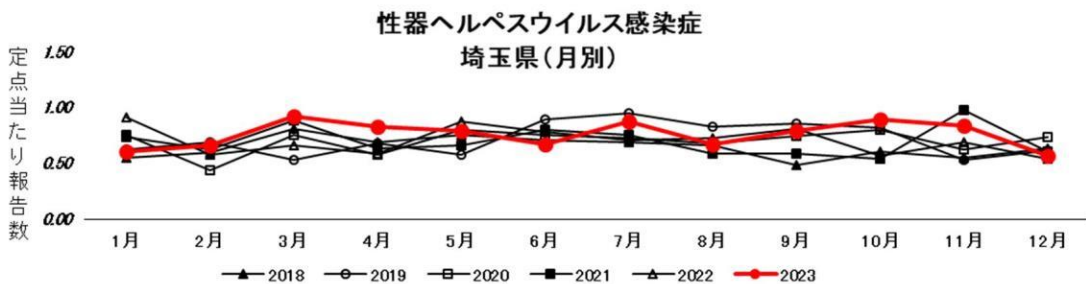
図Ⅱ-23-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：性器クラミジア感染症）

2) 性器ヘルペスウイルス感染症

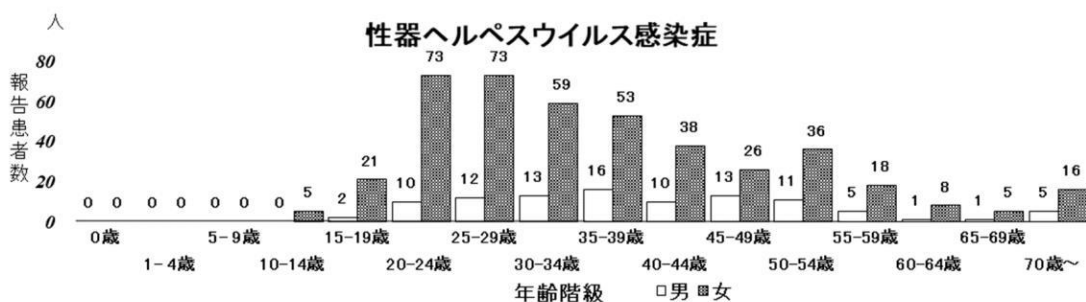
2023年1月～12月の累積報告患者数は530人(男性99人、女性431人、性比0.23)であった。定点当たり報告患者総数9.14は前年に比べ増加した。定点当たり報告数は最小値0.57、最大値0.92の範囲で推移した。男性の報告患者の最も多い年齢階級は、35-39歳の16人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は20-24歳及び25-29歳の各73人、30-34歳の59人、35-39歳の53人で、女性全体の59.9%であった。



図Ⅱ-24-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：性器ヘルペスウイルス感染症）



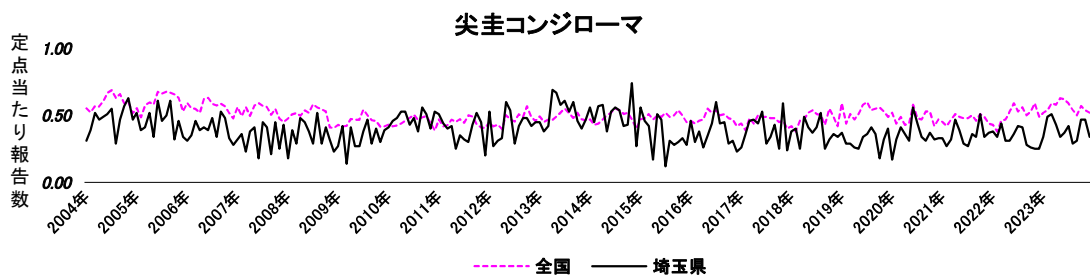
図Ⅱ-24-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：性器ヘルペスウイルス感染症）



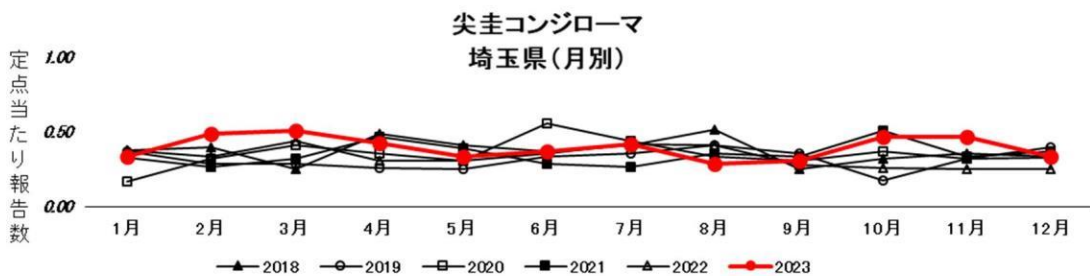
図Ⅱ-24-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：性器ヘルペスウイルス感染症）

3) 尖圭コンジローマ

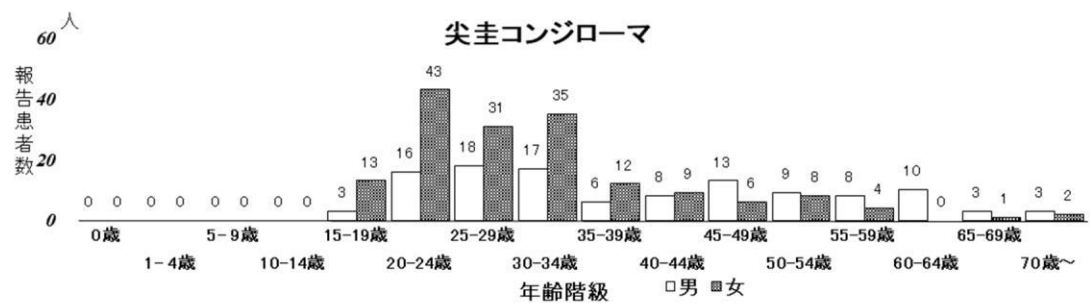
2023年1月～12月の累積報告患者数は278人（男性114人、女性164人、性比0.70）であった。定点当たり報告患者総数4.79は前年に比べ増加した。定点当たり報告数は最小値0.29、最大値0.51の範囲で推移した。男性の報告患者の多い年齢階級は、25-29歳の18人、30-34歳の17人、20-24歳の16人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は20-24歳の43人、30-34歳の35人、25-29歳の31人で、女性全体の66.5%であった。



図Ⅱ-25-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：尖圭コンジローマ）



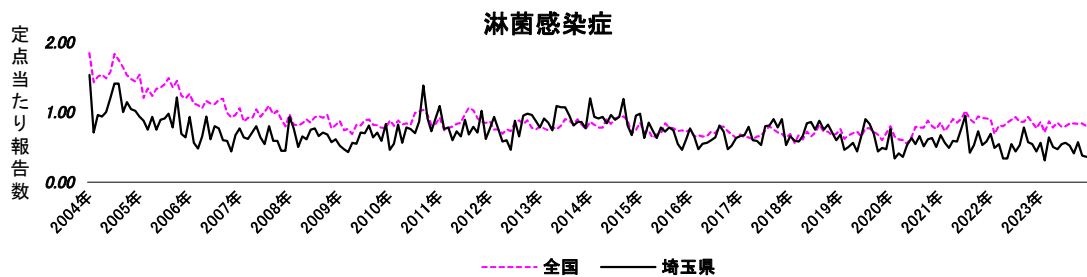
図Ⅱ-25-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：尖圭コンジローマ）



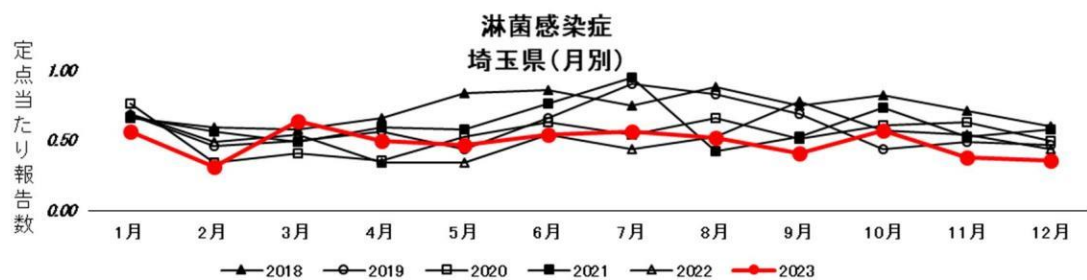
図Ⅱ-25-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：尖圭コンジローマ）

4) 淋菌感染症

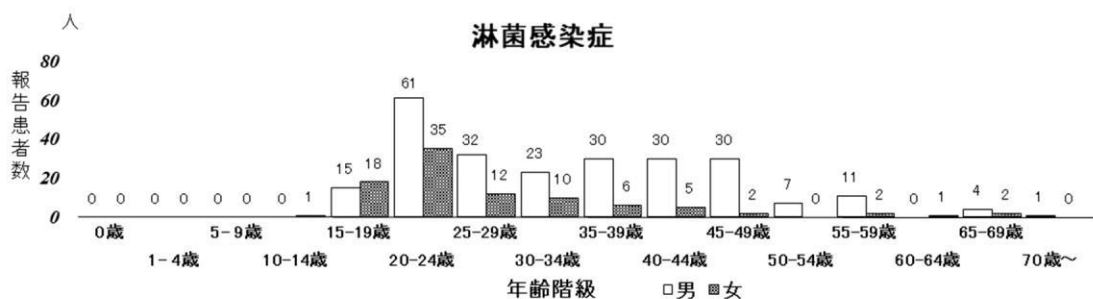
2023年1月～12月の累積報告患者数は338人(男性244人、女性94人、性比2.60)であった。定点当たり報告患者総数5.83は前年に比べ減少し、1999年の感染症法施行以降、最少となった。定点当たり報告数は最小値0.31、最大値0.64の範囲で推移した。男性の報告患者の最も多い年齢階級は20-24歳の61人であった。女性の報告患者の最も多い年齢階級は20-24歳が35人であった。



図Ⅱ-26-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：淋菌感染症）



図Ⅱ-26-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：淋菌感染症）



図Ⅱ-26-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：淋菌感染症）